



東急不動産



自然電力

News Release

2023年8月3日

報道関係者各位

株式会社パワーエックス
東急不動産株式会社
伊藤忠商事株式会社
自然電力株式会社

東急不動産、パワーエックスの系統用蓄電池を初導入

当社初の系統用途での導入案件として、

24年下期に埼玉県東松山市の『TENOH A 東松山』に設置予定

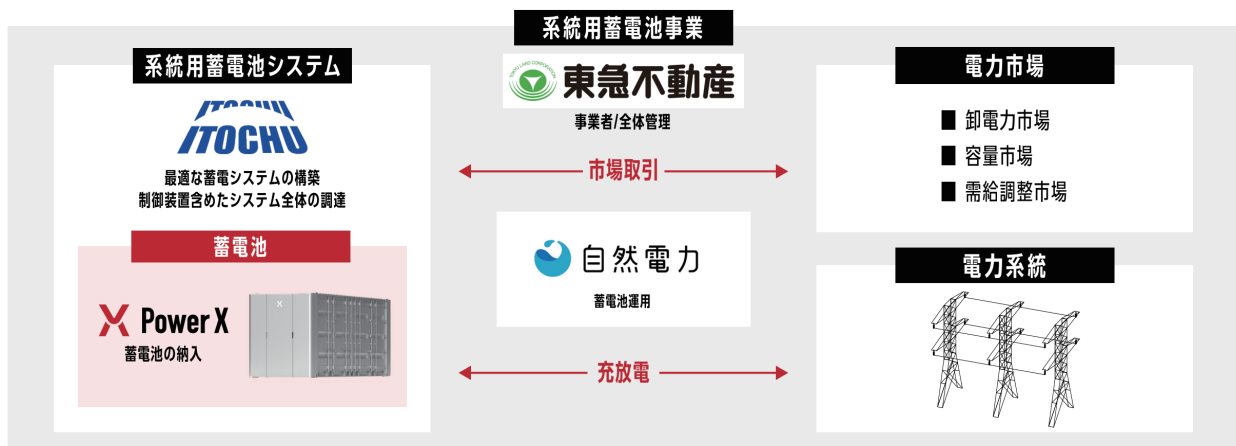
株式会社パワーエックス（本社：東京都港区、代表：取締役兼代表執行役社長 CEO 伊藤 正裕、以下、「パワーエックス」）は、当社が開発・生産する系統用蓄電池システムが、東急不動産株式会社（本社所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：星野 浩明、以下、「東急不動産」）が運営する埼玉県東松山市の TENOH A 東松山の系統用蓄電池事業（以下、「本事業」）に採用されたことをお知らせします。本事業は東京都の「令和4年度系統用大規模蓄電池導入促進事業」を活用いたします。

また、本事業においては、東急不動産、伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 COO：石井 敬太、以下「伊藤忠商事」）、パワーエックス及び自然電力株式会社（本社所在地：福岡県福岡市、代表取締役：磯野 謙、川戸健司、長谷川雅也、以下、「自然電力」）の4社が、本事業の推進および系統用蓄電池事業の拡大に向けたパートナーシップ契約を締結いたします。

■本事業の取り組み背景と概要

2050年カーボンニュートラルの実現に向けた動きが加速する中、太陽光発電等の再生可能エネルギー（以下、「再エネ」）の開発が進むことで、その出力変動に対する「調整力」として蓄電池の需要が高まると見込まれています。

本事業では、パワーエックスの蓄電池システム（定格出力 1.8MW、定格容量 4.9MWh）を、系統用蓄電池事業において国内で初めて採用。



なお、パワーエックスの系統用蓄電池システムの導入に向けて、伊藤忠商事が蓄電池事業に必要な蓄電システム全体を設計・構築するアレンジメントを担うとともに、パワーエックスの蓄電池システム以外にも制御装置等の調達を担います。自然電力は東急不動産からの委託を受け、自然電力が開発・運用するアグリゲート・エネルギー管理システム「Shizen Connect」を活用して当該蓄電池を制御し、これにより生み出される「調整力」を、卸電力市場、需給調整市場、容量市場といった各電力市場で運用します。

当該蓄電池は、東急不動産が運営する実証実験プラットフォーム「リエネソーラーファーム東松山」内にある「TENOHA 東松山」に設置し、2023年度内に建設開始・2024年度上期に運転開始を予定しています。

4社は、系統用蓄電池システムの枠組み構築を行い、今後も他案件への取り組みを進めることで日本の電力システムの安定化に貢献してまいります。

事業者名	東急不動産株式会社（東京都渋谷区道玄坂 1-21-1 代表取締役社長 星野 浩明）
事業名称	TENOHA 東松山蓄電所
所在地	埼玉県東松山市上野本 1423-1
定格出力	1,799kW
定格容量	4,953kWh
蓄電池システム構築	伊藤忠商事株式会社
蓄電池メーカー	株式会社パワーエックス
電池方式	リチウムイオン電池
蓄電池運用者	自然電力株式会社
敷地面積	約 400 m ²
運転開始日	2024年度下期（予定）

■パートナーシップ契約の概要

（1）締結の背景

不安定電源である再エネ導入拡大に伴い、「発電力」だけでなく「調整力」が求められており、調整力を確保するために系統用蓄電池事業への期待が高まっています。これから本格的に市場が始まっていく新たな事業の推進にあたり、各々のノウハウや強みを活かした4社でパートナーシップを組むに至りました。また、海外製の蓄電池システムの採用が増える中で、国内メーカーとして期待されているパワーエックスの蓄電池を採用し、このような新たな取り組みを多くの人が見学可能な「TENOHA東松山」で行うことで、系統用蓄電池事業の普及拡大に寄与すると考えています。

（2）目的、内容

- ・今後、さらなる蓄電所事業の普及が見込まれる中で、各社のノウハウや強みを活かした4社でパートナーシップを組み、密に連携しながら協力的に本件に取り組む。
- ・今回の事業での経験を活かし、他案件への展開を検討する。

（3）役割

- ・伊藤忠商事：最適な蓄電システムの構築及び 制御装置含めた蓄電池システム全体の調達
- ・パワーエックス：蓄電池システムの、製品開発・生産・納入
- ・自然電力：同社が開発・運用するアグリゲート・エネルギー管理システム
「Shizen Connect」を活用した蓄電池システムの制御及び各種市場等での取引

- ・東急不動産 : 系統用蓄電池事業者、実証実験の場の提供、事業全体運営

<参考>リエネソーラーファーム東松山について

- ・リエネソーラーファーム東松山の概要 HP : <https://solrfarm.jp>

次世代を担う再エネ事業と農業の実証実験プラットフォームを東急不動産が提供し、様々な関係者の皆様と協働することで未来の「技術発展」「事業拡大」「地域連携」を図る参加型の実証事業を目指します。

・TENOKA 東松山の概要

実証内容の説明や展示の他、一般のお客様が利用できるカフェ・コワーキングスペース及びイベントスペースなど、多様な使い方が出来る地域共生プロジェクトとして運営しております。

施設名称	TENOKA 東松山
所在地/交通	埼玉県東松山市上野本 1423-1 / 東武東上線「東松山」駅 徒歩 25 分
用途	カフェ、コワーキング、イベント
営業時間/定休日	9:30~17:00 / 不定休
運営	株式会社佐勇
開業日	2022 年 12 月 18 日
電話番号	0493-81-7290
店舗 HP	https://tenoha-h.jp/

■PowerX 20ft High Cube (20 フィートコンテナ型蓄電池)について



- ・サイズ：20 フィートコンテナ (ISO 規格)
- ・電池セル種類：リン酸鉄リチウムイオン(LFP)
- ・蓄電池容量：2.7 MWh
- ・生産地：岡山県

*イメージ図。外観意匠は予告なく変更となる場合があります

■「Shizen Connect」について

Shizen Connect (シゼンコネクト) は、再エネ発電設備や蓄電池・EV・EQ などのエネルギーリソースを集合的に制御するアグリゲート・エネルギー管理システムです。住宅の太陽光発電と蓄電池、EV 充電器などの制御から、複数の建物を自営線などで繋いだマイクログリッドの制御、数千台規模のエネルギーリソースによる VPP 制御などが実現できます。これまで分断されがちな個別の制御と VPP 制御などをワンストップで提供できるので、エネルギーリソースをマルチパーパスで利用することで経済性を向上させられ、またベンダーフリーなのでメーカー依存なくエネルギーリソースは自由に選定できます。2023 年 7 月 19 日には西日本鉄道株式会社との系統用蓄電池事業での採用を発表しました。

(https://www.shizenenergy.net/2023/07/19/grid_scale_battery_nishitetsu/)。

Web サイト：<https://se-digital.net/connect>

■東急不動産の概要

名称	東急不動産株式会社
所在地	東京都渋谷区道玄坂一丁目21番1号
代表者	代表取締役社長 星野 浩明
事業内容	総合不動産デベロッパー
資本金	57,551 百万円
設立年月	1953 年 12 月 17 日

■伊藤忠商事の概要

名称	伊藤忠商事株式会社
所在地	東京都港区北青山二丁目5番1号
代表者	代表取締役社長 COO 石井敬太
事業内容	繊維、機械、金属、エネルギー、化学品、食料、住生活、情報、金融の各分野における国内、輸出入および三国間取引 等
資本金	253,448 百万円
設立年月	1949 年 12 月 1 日

■パワーエックスの概要

名称	株式会社パワーエックス
所在地	東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウンタワー43 階
代表者	取締役兼代表執行役社長 CEO 伊藤 正裕
事業内容	大型蓄電池の製造・販売、EV チャージステーションのサービス展開、及び電気運搬船の開発・製造
資本金	5,790 百万円 (資本準備金含む)
設立年月	2021 年 3 月 22 日

■自然電力の概要

名称	自然電力株式会社
所在地	福岡県福岡市中央区荒戸 1-1-6 福岡大濠ビル 3F/6F
代表者	磯野謙、川戸健司、長谷川雅也
事業内容	太陽光・風力・小水力等の再生可能エネルギー発電所の発電事業 (IPP)、事業開発・資金調達、アセットマネジメント、法人向け電力小売事業、デジタル事業等

News Release

資本金	2,591 百万円
設立年月	2011 年 6 月 2 日

<本リリースに関するお問い合わせ先>

東急不動産株式会社 広報室 報道担当 林 MAIL : tlc-hodo@tokyu-land.co.jp

株式会社伊藤忠商事株式会社 広報部 <https://www.itochu.co.jp/ja/inquiry/product/input>

株式会社パワーエックス 広報室 担当者 大津 MAIL : pr@power-x.jp

自然電力株式会社 広報部 担当者 幸野 MAIL : se-comm@shizenenergy.net